

『水はどこから』発行記念シンポジウム 里山にかかわる意味を考えよう

近畿の水がめ、琵琶湖。

その恵みをうける私たち“まちの住人”は、日々使っている水がどこからやってくるのか、忘れがちです。

琵琶湖に注ぐ川の源流部『水源地の森』を保全する活動の大切さを知り、それにかかわることは、くらしを守ることにつながります。

このたび発行する『水はどこから』は森の保全が水の恵みと深くかかわることを学ぶ教材としてつくられた冊子です。発行を記念してシンポジウムを開催します。

せいわエコ・サポーターズクラブ

2005年12月10日(土) 13:30~16:30

近畿環境パートナーシップオフィス(「きんき環境館」)

(大阪市営地下鉄・京阪電車「天満橋」下車、すぐ、OMMビル5階)



(イラスト 田畑尚美)

12月6日(火)~12月10日(土)
里山の活動を紹介する展示
(きんき環境館)

第1部 報告(13:30~14:15)

報告 戸田 耿介(NPO法人こども環境活動支援協会)

コメント 山下 宏文(京都教育大学)

第2部 シンポジウム(14:30~16:30)

里山にかかわる意味を考えよう

発言者

植田 善太郎(泉大津市立上條小学校)

金下 玲子(フリーライター)

河野 猪太夫(NPO法人 自然と緑)

城ノ下 夫三枝(せいわエコクラブ)

山下 宏文(京都教育大学)

コーディネーター 戸田 耿介・原田智代

問い合わせ せいわエコ・サポーターズクラブ(原田)電話・fax 06-6779-5306/eメール seiwa_ecoclub@yahoo.co.jp

このシンポジウムは、財団法人日本科学協会の支援(日本財団助成事業)により実施するものです。